

2021年に、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催

そして2025年 東京でデフリンピックが開催！

2025年11月15日～26日 東京・福島・静岡 開催

デフリンピックとは？

きこえない選手の国際的なスポーツ大会です

デフ(Deaf)とは、英語で「きこえない」という意味です。

オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。競技ルールはオリンピックと同じですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。



視覚的保障ってなに？

音や審判の合図がきこえないという、選手にとって不利な状況を視覚的に補うことです

デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスターターの音はフラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。サッカーやラグビーでは審判が笛を吹くとともに、旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。またさまざまな競技でフラッシュランプなどを活用しています。このような、さまざまな視覚的な工夫をした競技環境がデフリンピックでは整えられています。

どのような競技があるの？

夏季と冬季で以下の競技があります

◆夏季デフリンピック

陸上・バドミントン・バスケットボール・ビーチバレーボール・ボウリング・自転車・サッカー・ゴルフ・ハンドボール・柔道・空手・マウンテンバイク・オリエンテーリング・射撃・水泳・卓球・テコンドー・テニス・バレーボール・レスリング（フリースタイル、グレコローマン）

◆冬季デフリンピック

アルペンスキー・クロスカントリースキー・スノーボード・カーリング・アイスホッケー・チェス・フットサル



デフリンピック
ろう者のオリンピック

オリンピックは平和を守り
パラリンピックは勇気を生み
デフリンピックは夢を育む

デフリンピック ろう者のオリンピック

オリンピックは平和を守り
パラリンピックは勇気を生み
デフリンピックは夢を育む

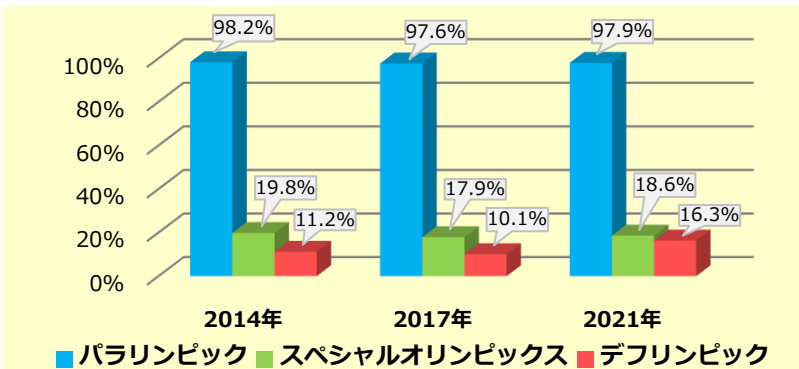
デフリンピックはどのくらい知られている？

認知度が低いのが現状です

2021年に日本財団パラスポーツサポートセンターが行った調査結果では、国内のデフリンピックの認知度は16.3%です。2014年に同機関が調査したときは11.2%だったので、それと比べるとやや認知度は上がりました。

しかし、パラリンピックの認知度97.9%と比べるとはるかに低いのが現状です。

日本におけるパラリンピック・スペシャルオリンピックス・デフリンピックの認知度の推移（2014・2017・2021年）



デフリンピックの歴史

夏季デフリンピックは1924年に始まり、2025年に100年目です

◆夏季デフリンピック

第1回	1924 (大正13)	フランス
第2回	1928 (昭和3)	オランダ
第3回	1931 (昭和6)	ドイツ
第4回	1935 (昭和10)	イギリス
第5回	1939 (昭和14)	スウェーデン
第6回	1949 (昭和24)	デンマーク
第7回	1953 (昭和28)	ベルギー
第8回	1957 (昭和32)	イタリア
第9回	1961 (昭和36)	フィンランド
第10回	1965 (昭和40)	アメリカ
第11回	1969 (昭和44)	ユーゴスラビア
第12回	1973 (昭和48)	スウェーデン
第13回	1977 (昭和52)	ルーマニア
第14回	1981 (昭和56)	ドイツ
第15回	1985 (昭和60)	アメリカ
第16回	1989 (平成1)	ニュージーランド
第17回	1993 (平成5)	ブルガリア
第18回	1997 (平成9)	デンマーク
第19回	2001 (平成13)	イタリア
第20回	2005 (平成17)	オーストラリア
第21回	2009 (平成21)	台湾
第22回	2013 (平成25)	ブルガリア
第23回	2017 (平成29)	トルコ
第24回	2022 (令和4)	ブラジル
第25回	2025 (令和7)	日本

◆冬季デフリンピック

第1回	1949 (昭和24)	オーストリア
第2回	1953 (昭和28)	ノルウェー
第3回	1955 (昭和30)	ドイツ
第4回	1959 (昭和34)	スイス
第5回	1963 (昭和38)	スウェーデン
第6回	1967 (昭和42)	ドイツ
第7回	1971 (昭和46)	スイス
第8回	1975 (昭和50)	アメリカ
第9回	1979 (昭和54)	フランス
第10回	1983 (昭和58)	イタリア
第11回	1987 (昭和62)	ノルウェー
第12回	1991 (平成3)	カナダ
第13回	1995 (平成7)	フィンランド
第14回	1999 (平成11)	スイス
第15回	2003 (平成15)	スウェーデン
第16回	2007 (平成19)	アメリカ
第17回	2011 (平成23)	スロバキア(中止)
第18回	2015 (平成27)	ロシア
第19回	2019 (平成31)	イタリア
第20回	2024 (令和6)	トルコ

夏季デフリンピックは1924年にフランスで始まり、日本は1965年のアメリカ・ワシントン大会から参加しています。

冬季デフリンピックは1949年にオーストリアで始まり、日本は1967年のドイツ・ベルヒテスガーデン大会から参加しています。

日本から出場している選手は100人を超すようになっています。

東京2025デフリンピック大会 ポータルサイト



<https://www.deaflympics2025.com/>

2025年
11月15日～26日 開催！

©一般財団法人全日本ろうあ連盟
制作・発行：一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
第4版 2023.11.29

デフリンピックへの支援

①デフリンピック知名度アップにご協力ください！

デフリンピックはパラリンピックより認知度がはるかに低く、スポンサーが少ないため、経済的負担が大きかったり、遠征などで職場での休暇が取りにくいなどといった課題があります。

②デフスポーツ・サポーターを募集しています



デフアスリートへの支援や競技環境の向上を通して、きこえない選手や子どもたちの可能性を広げ、デフスポーツの発展をめざしています。

その取り組みに、ご理解とご賛同をいただける皆さまにサポーター入会をお願いしています。

デフリンピックをフェイスブックやエックス（旧ツイッター）等のSNSで発信してください



<https://www.jfd.or.jp/sc/supporter>